

2026年度北海道立工業技術センター研究成果発表会

設立40周年 ～感謝と挑戦～

北海道立工業技術センターでは、地域企業の技術の高度化や新製品開発の支援を目的に、地域のニーズに根ざした数々の研究開発や技術相談、依頼試験・分析、研修会などの事業を行っております。

今年度、設立40周年を迎える当センターでは、「感謝と挑戦」をスローガンに、日頃の成果を多くの皆様にご理解いただき、今後の事業活動により一層ご活用を頂くため、下記のとおり研究成果発表会を開催いたします。

多数の皆様のご参加を賜りますよう、ご案内申し上げます。

記

日 時： 2026年7月2日(木) 13:30～17:00

会 場： プレミアホテル-CABIN PRESIDENT-函館
(函館市若松町14番10号)
TEL:0138-22-0111

参 加 費： 無料

定 員： 100名

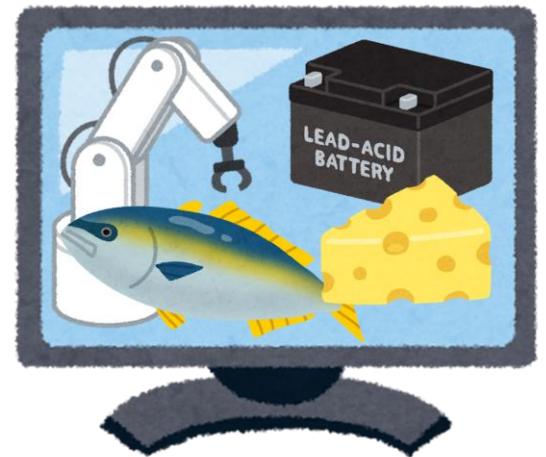
問い合わせ先： 公益財団法人函館地域産業振興財団 研究開発部研究支援課
(函館市桔梗町379番地 北海道立工業技術センター内)
TEL:0138-34-2600

申込方法： 右のQRコードを読み取り、申込フォームからお申込みください。
下記URLからも、お申込みいただけます。
URL:<https://forms.gle/mnVt8x82PU62n3sn9>



申込締切日： 2026年6月25日(木)

※ ご記入いただいた個人情報は、参加者の取りまとめや連絡等の目的以外には使用いたしません。



***** 研究成果発表会プログラム *****

13:30~13:35 開催挨拶

13:35~13:45 事業概要説明

口頭発表：研究開発成果

| | |
|---------------------|--|
| 13:45 ~ 14:00 | 鉛蓄電池の性能試験評価 村田 政隆 (ロボテックグループ)、河村 悦郎 ((有)河村工業) 電力の地産地消を目指した創蓄連携システム開発を目的に、ナノカーボンシリカ触媒添加鉛蓄電池(NCS)の性能を試験評価して、低温動作、大電力仕様、長寿命化の適応性を確認した取り組みについて紹介する。 |
| 14:00 ~ 14:15 | 地域製造業向けオープンソースロボットハンドモデルに関する研究 松本 陽斗 (ロボテックグループ) 労働人口減少の対策としてロボット導入を推進するにはコストの低減が必要である。本発表では、低コストで利用可能なオープンソースロボットハンドの実現に向けた、3Dプリンタで製作可能なフィンガモデルに関する取り組みを紹介する。 |
| 14:15 ~ 14:30 | スパッタ技術による酸化物薄膜の作製と分析評価 佐竹 伸之 (マテリアルテックグループ) 地元企業が製造する真空成膜装置を用い、反応性スパッタ法により酸化亜鉛薄膜をガラス基板上に成膜した。試料の膜厚均一性、結晶性、組成分析、光学特性、表面微細構造観察結果などについて幅広く紹介する。 |
| 14:30 ~ 14:45 | 国産乳酸菌を使用した熟成チーズの製造試験 三上 大輔 (フードテックグループ) チーズの熟成促進や風味向上に寄与するサブスターター乳酸菌を開発してきた。今回、乳酸発酵を主目的とする乳酸菌株の開発にも取り組み、これらを組み合わせた熟成チーズを試作・評価したので紹介する。 |
| 14:45 ~ 15:00 | 道南産ブリのすり身加工適性 緒方 由美 (フードテックグループ) 脂質含量の低い小型のブリの利用拡大を目指し、魚体重が2kg以下のブリの魚肉からすり身の作製を試みた。塩分濃度等の条件を変えてすり身を作製し、物性を指標に評価したすり身への加工適性について紹介する。 |

パネルによる紹介：賛助会員（敬称略、五十音順）

| | | | |
|---------------------|--------------------|-----------------------|---------------|
| 15:00 ~ 16:00 | ◆(株)アクトシステムズ | ◆(株)浅井ゲルマニウム研究所 | |
| | ◆(株)AIハヤブサ | ◆(株)エスイーシー | |
| | ◆エスイーシー・シープレックス(株) | ◆(株)エルフィン | |
| | ◆(有)大中山ふでむら | ◆共和コンクリート工業(株)海藻技術研究所 | |
| | ◆(株)五島軒 | ◆(有)コムテック | ◆地物産品御料理処根ぼつけ |
| | ◆上加冷機工業(株) | ◆新技術開発サロン | ◆(株)菅製作所 |

- | | | |
|---------------|-------------------|-------------|
| ◆(株)セコニック函館工場 | ◆タカノ(株) | ◆(有)タカハシ食品 |
| ◆(株)だるま食品本舗 | ◆ナカ電子(株) | ◆(株)中山薬品商会 |
| ◆(株)ニッコー | ◆日新電子工業(株) | ◆函館商工会議所 |
| ◆函館造船(株) | ◆函館タナベ食品(株) | ◆(株)はこだてわいん |
| ◆(有)パテントワークス | ◆(株)フジワラ | ◆北海道製菓(株) |
| ◆北海道ニチモウ(株) | ◆北海道マリノイノベーション(株) | |
| ◆(株)村瀬鉄工所 | ◆(株)メデック | ◆(有)緑友会六輪村 |

パネルによる紹介：関係機関・団体（敬称略、順不同）

- | | |
|---------------------|--|
| 15:00 ～ 16:00 | ◆(地独)北海道立総合研究機構 工業試験場、 食品加工研究センター、 函館水産試験場、 道南農業試験場 |
| | ◆(地独)青森県産業技術センター 八戸工業研究所 |
| | ◆北海道大学 地域水産業共創センター ◆公立はこだて未来大学 |
| | ◆函館工業高等専門学校 ◆(一財)函館国際水産・海洋都市推進機構 |
| | ◆ヘルシーDo推進協議会(事務局:(一財)北海道バイオ工業会) |
| | ◆(独)工業所有権情報・研修館(INPIT) ◆海藻活用研究会 |

パネルによる説明：工業技術センター関連

- ◆北海道立工業技術センターの紹介
- ◆(公財)函館地域産業振興財団の紹介
- ◆令和7年度新規導入機器の紹介
- ◆令和8年度外部事業の紹介

ロボテックグループの紹介

- | | |
|---------------------|--|
| 16:00 ～ 16:55 | ◆鉛蓄電池の性能試験評価 (村田 政隆) ナノカーボンシリカ触媒添加鉛蓄電池の創蓄連携システム適応性確認に関して紹介する。 |
| | ◆魚の健康診断のための可視光通信技術 (村田 政隆) 水産養殖分野に重要な魚の生体情報のリアルタイム計測を目指した測定技術を紹介する。 |
| | ◆AIと魚眼カメラを用いた照明制御技術 (松本 陽斗) モニュメント照明の演出高度化に向けた、手の動きによる照明の対話制御技術を紹介する。 |
| | ◆地域製造業向けオープンソースロボットハンドモデルに関する研究 (松本 陽斗) 3Dプリンタで製作可能な低コストのロボットハンド用フィンガモデルに関して紹介する。 |
| | ◆3D-CADを活用した製造業の生産性向上支援 (松村 一弘) 3D-CADを設計・解析・製造に活用した生産性向上にかかわる技術支援を紹介する。 |

| | |
|------------------------------|---|
| | <p>マテリアルテックグループの紹介</p> <p>◆海藻成分を利用した油脂素材の製造技術開発 (鳥海 滋) 海藻由来の風味および成分を含有する油脂素材の簡便な製造技術について紹介する。</p> <p>◆スパッタ法による蛍光体粒子への成膜 (菅原 智明) 無機EL用蛍光体粒子表面に均一に保護膜を作製するためのスパッタ技術を紹介する。</p> <p>◆電気電子工学と機器製品化・無機材料研究に関する取組み (佐竹 伸之) 電気電子工学の知見を活用した機器製品化および無機材料研究の取組事例を紹介する。</p> <p>◆金属材料に関する研究開発・企業支援事例の紹介 (坂本 広太) 金属表面処理の研究開発事例、および機器分析技術を活用した企業支援事例を紹介する。</p> <p>◆相対湿度周期操作を用いた低温度領域の通風乾燥技術について (塩原 愛理) 低温度領域の通風乾燥における乾燥時間の短縮化と製品品質向上技術について紹介する。</p> |
| <p>16:00 ～ 16:55</p> | <p>フードテックグループの紹介</p> <p>◆DNA情報を利用したマコンブの分析技術 (清水 健志) マコンブの原産国や遺伝的多様性を分析するための技術開発について紹介する。</p> <p>◆道南地域由来チーズ製造用乳酸菌の探索と製造方法改良の検討 (三上 大輔) チーズ製造用純国産乳酸菌株の探索と製造コスト低減の試みについて紹介する。</p> <p>◆スラリーアイスを活用した道産ブリの高鮮度輸送技術 (緒方 由美) スラリーアイスを活用した鮮魚の輸送技術とブリの国内輸送試験の結果を紹介する。</p> <p>◆分析機器を用いた食品分析の事例紹介 (岸野 愛) 水産物のK値分析やアミノ酸分析、クリープメータを用いた物性評価について紹介する。</p> <p>◆輸出促進を目指した生鮮水産物の品質制御と鮮度の“見える化”技術の実用化 (吉岡 武也) 鮮度の“見える化”と高鮮度流通の技術開発を目指す研究プロジェクトを紹介する。</p> |

16:55～17:00 閉会挨拶